

大会新記録で 念願の優勝！ 津奈木中チーム



第61回熊日三太郎駅伝競走大会

激しいアップダウンが連続する峠道を駆け抜ける「第61回熊日三太郎駅伝大会」が1月9日、水俣市役所をスタート、芦北町の旧田浦町役場をゴールとする40・9キロのコースで行われました。

県内の駅伝では最も歴史が古い本大会は61回目の開催。水俣市、葦北郡の1市2町及び八代市二見から一般9チーム、高校3チーム、中学8チームの計20チームが参加。一般・高校6区間、中学10区間でたすきをつなぎました。レース結果は、一般の部総合①水俣市②芦北町③津奈木町。中学校の部は、①津奈木中②袋中③水俣二中と、津奈木中学校が8校中優勝という素晴らしい成績をおさめました。

33年ぶり優勝！津奈木中チーム

昨年の本大会では惜しくも準優勝という成績だった津奈木中チーム。今年の大会こそ優勝を！と選手たちに大きな期待がよせられる中、今までのタイムを2分以上も縮める大会新記録を打ち出し、津奈木中チームが33年ぶりの優勝を飾りました。

なかでも、3区・村上明生さん（3年）、4区・真野翔磨さん（2年）、8区・寺床武士さん（2年）、9区・國本晏菜さん（2年）と4名もの選手が区間賞を獲得！惜しくも区間賞を逃した選手も区間2・3位をとるなど、選手全員が素晴らしい走りを見せてくれた上での優勝となりました。実力に満ち溢れる選手たちに、来年の連覇も期待されます。



→区間賞を獲得した選手。（右から）國本晏菜さん、真野翔磨さん、村上明生さん、寺床武士さん（寺床さんは区間新）



→ガッツポーズでゴールテープを切る津奈木中チームアンカー坂口晃希さん。

一般の部に新チームが参戦！

本町の一般の部は若手選手が定着せず、大半が40歳後半から50歳代で、毎年総合3位というチーム状況下。今年はなんとかこの状況を変えようと、役場若手職員等が奮起し、新チームを結成。津奈木町Bチームとして大会に挑みました。急遽作られたチームでしたが、ゴールまで見事に走りきりました。

結果は今年も総合3位に終わりましたが、来年以降の更なる活躍が期待されます。



→今年初参戦の津奈木町Bチーム【右から】中山忠さん（4区）、諫山吉光さん（3区）。